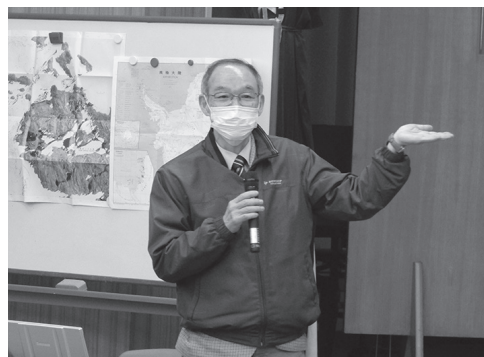


町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

南極の生物と自然

▼第6回おしどり学園



▲南極について説明する大谷さん

2月19日、第6回おしどり学園を開きました。

講演では、「南極の生物と自然」と題し、島根大学教育学部教授の大谷修司さんを招きました。

大谷さんは、島根大学赴任前の約6年間、国立極地研究所で南極観測の仕事をしていました。南極には計3回、その内1回は越冬隊として上陸しています。特に、第29次南極観測越冬隊として活動を行ったときの南極の生物と自然について、クイズ形式で分かりやすく説明していただきました。

南極大陸は、面積が日本の37倍。また、氷の厚さが平均で約

2450mもあり、最も深いところでは、富士山(3776m)よりもさらに厚さ(約4000m)があります。

最近、地球温暖化によって南極の氷が解けているという話をよく耳にしますが、地球上の氷の約90%を占める南極の氷が全て解けたとすると、なんと約60mも地球の海面が上昇することになります。昭和基地は、南極のわずか約3%しかない土の上に立っており、ここを基点にさまざまな観測が行われています。

南極には、北極にいる大型哺乳類のホッキョクグマなどは生息していませんが、海を生活のよりどころとするカニクイアザラシやウェッデルアザラシなどの哺乳類、陸上に巣を作って子育てをするアデリーペンギンなどが生息しています。

また、南極は、夏の気温は日中約0度で、土の温度は25度まで上昇することもあります。冬には最低気温がマイナス45・3度にもなり、木は生えることができません。草は、南極の暖かいところだけに育ち、昭和基地の近くには育たないとのこと。

大谷さんの専門である「藻」の仲間は、雪の上でも育つこ

とができ、「緑雪」という一面に藻が生えた場所があるそうです。また、昭和基地付近の土の中には、たくさんの藻の仲間が生息しています。

南極の説明の合間には、大谷さんが撮影した、地球上でもっとも南にいる哺乳類で、700mもの深さに約70分潜れるウェッデルアザラシの愛らしい動画や、夏に氷のない海岸で子育てをするアデリーペンギンの様子などの貴重な映像も見ることができました。

また、国立極地研究所から取りよせた南極の氷や、地球最古級の約40億年前の石など、普段目にするのではない南極の自然の様子を間近に感じられる展示もあり、受講生の皆さんは、講演終了後もしばらくの間見入っていました。



▲南極の生物や石の標本に見入る受講生

歴史の探訪者モトム!

「古文書に親しむ会」
受講者募集

古文書に親しむ会では、来年度も古文書に慣れ親しむとともに、日野町の歴史の一端をひも解いていきたいと思っております。新たな受講者も募集していますので、興味のある人はぜひ、お申込みください。

日時：毎月第4日曜日 午前10時30分～正午
場所：町公民館
問合せ・申込先：町公民館（電話 74-0212）



▲福田久道家の家譜をひも解く受講者の皆さん

ロビー展示

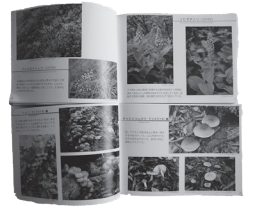
「大山の森と樹木」パネル展 開催中



▲パネルに見入る来館者の皆さん

町公民館1階ロビーでは、3月26日まで「大山の森と樹木」のパネル展を開催しています。「森と林とは」「森林の種類」「森林のはたらき」などについて展示されており、特に昨年被害の大きかった「ナラ枯れ」のコーナーでは、ナラ枯れの原因となるカシノナガキクイムシとナラ菌の説明に、多くの方がじっくりと見入っていました。

また、平成17年に「鳥取県立大山自然歴史館」として開館し、平成30年に改装されたことを記念して作成された写真集「大山地域のキノコたち」や、開館10周年を記念して作成された写真集「大山地域の希少植物」も展示。来館者の皆さんは興味深くページをめくっていました。



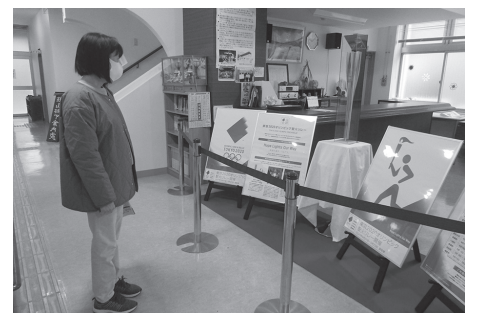
▲大山自然歴史館の記念写真集

東京2020オリンピック聖火リレートーチ県内巡回展示会



令和3年度に開催予定の「東京2020オリンピック聖火リレー」のトーチが、県内全ての市町村で巡回展示されています。日野町では、2月13日～2月18日の期間に町内の各所で展示され、町公民館では16日～18日の3日間、展示が行われました。

伝統と現代美術が融合されたトーチに、多くの方が見入っていました。東京2020オリンピック聖火リレーは、令和3年3月25日に福島県をスタートし、全国各地を巡って人々に希望と勇気を与えていきます。



▲聖火リレートーチを間近で鑑賞

生涯学習でふれあいと 交流の輪を広げませんか

令和3年度おしどり学園生募集

町内の誰でも気軽に参加できる生涯学習の場です。年齢制限などはありません。皆様のご参加をお待ちしています。

【期間】4月から毎月1回（第3金曜日。ただし、3月は別日）

【場所】町公民館（当日は、町営バスを臨時運行します）

【内容】

▼一般教養講座…自然・歴史・健康など、さまざまなテーマで講師を招き、学習を深める講演会です。

▼グループ専門講座…手芸、生け花、健康、写真、音読のグループに分かれて活動します。楽しく学び、生きがいつくり・仲間づくり・健康づくりを行います。

手芸…和気あいあいの雰囲気の中で、縫い物をします。（講師：中山キサ子さん）

生花…季節の生け花をします。花と向き合います。（講師：生田清子さん）

健康…役場健康福祉課が毎月内容を考え、介護予防教室を行います。（講師：高橋伸也さん）

写真…学園生が自分のカメラを持ってきて、撮り方などを習います。（講師：写友会ひの 松本利秋さん）

音読…声を出すことは、脳の活性化につながります。川柳や詩、絵本、昔話などを声に出して読みます。（講師：町図書館）

▼町外研修…年1回、町外で研修を行います。

※一般教養講座のみ、グループ専門講座のみの受講も可能です。

<おしどり学園 開講式のご案内>

日時 / 4月16日（金）午前9時30分～

場所 / 町公民館 講堂 記念講演 / 松本薫さん（作家）

